

陸叙卿言

内閣文庫	
番號和	15678
冊數	9 (1)
函號	163 158

庫	女	閣	内
六	一	五	和
三	九	六	書
函	冊	七	
一	八	八	類
架	號	號	

163-158



綴じ部(喉部分)の文字等が開きが不鮮明な場所あり

元身...
送中...
自...
館...

十五

淺草文庫

和學講談所

十六日巳

送中...
自...
精...
...



晴中...
...

午...
...

十日...
十一日...
十四日...
...

103-128

可系初方申取所環方申連

二十七日庚午晴

申半川牛之書部院后定其日為申之書部

家本之系外五山名仕

福慶時辛巳晴

卯半川申連取所取所之日常申之書部

本半川申連取所取所之日常申之書部

取所取所之日常申之書部

取所取所之日常申之書部

二系取中二系取中二系取中

取所取所之日常申之書部

取所取所之日常申之書部

取所取所之日常申之書部

取所取所之日常申之書部

取所取所之日常申之書部

取所取所之日常申之書部

家内より

申す

先般申上り申す事

先般申上り申す事

申す

先般申上り申す事

先般申上り申す事

先般申上り申す事

先般申上り申す事

先般申上り申す事

二十九日

取川作梅家

先般申上り申す事

先般申上り申す事

先般申上り申す事

先般申上り申す事

先般申上り申す事

先般申上り申す事

七月一日

二日甲申

晴申川半

送大子散書所し此方あり九 年返答

三 日 乙酉 昨午刻之平 寄湯初

四 日 丙戌 昨午刻斗 寄澤

以陳

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

乃乃者也各年所多 左方多亦伏 經重也

六日戊子 晴
卯三時申退却

七日己巳 晴

午時界跡尾舟家常口社刻申入鞠屋出此書
内（注）相軍大定院入系入常口社刻申至
申刻申 雖以家外白可斷（注）後衛平坊（注）酒倉
頁尾内宅 今夕調申 湯葉坊内通

日庚寅 晴

自尾守期為成申刻申本坊所居申刻申
此之申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申

此之申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申

九日辛卯 晴

申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申
申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申

申刻申

申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申

申刻申 寅子

申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申
申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申
申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申
申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申申刻申

坑自大定曆多事 出如大内及、号

事本十言中川以元定所、出如定出官格、在重將、
より得、輕、然、名、去、一、保、出、即、之、節、上、之、退、中、由、
大、定、為、之、由、心、者、之、り、得、り、る、也

ヤリ、ハ、カ

カ、成

身、ノ、抄、成

批准、今、午、川、自、身、者、る、事、ハ、リ、リ、ル、事、付、り、る、事、
申、入、也

チ、リ、の、り

カ、成

有、通、事、ハ、リ、ル、事、付、り、る、事、
申、入、也

チ、リ、の、り

カ、成

補、成、之、後、ハ、四、倍、有、成、也、ハ、三

左、進、次、法、通、院、自、認、毎、之、出、也、也

其、時、之、自、補、成、也、未

十日、壬、辰、時、申、時、申、法、習、の、声

今、日、は、御、由、也、
初、め、申、上、り、し、通、院、大、内、以、及、也、

送、上、之、初、の、成、成、し、事、由、の、成、成、入、り、る、事、由、
送、上、之、通、院、之、成、成、保、之、事、由、の、成、成、入、り、る、事、由、
加、成、之、事、由、の、成、成、入、り、る、事、由、の、成、成、入、り、る、事、由、

申、上、之、通、院、也

申、上、之、通、院、也、
申、上、之、通、院、也、
申、上、之、通、院、也、

從前上物... 丁卯年

林... 一三五五五五五

卯半刻申中元步... 院大... 提... 尹完

九... 申... 今... 庚... 晴... 微... 雨... 霽... 後

十六日戌

戌

晴百時亦微

卯半退朝

今... 申... 故... 有... 也

百時... 河... 邊... 遊... 行... 例... 年... 迫... 所... 上... 大... 寺... 表... 須... 申... 止

戊... 丁... 卯... 年... 丙... 午... 也

十七日巳

巳

晴... 雷... 為... 之... 聲... 上... 午... 刻... 申... 霽

十八日庚

庚

晴

今日... 報... 書... 而... 覆... 奏... 歸... 奉... 將

十九日辛

辛

晴

素... 持... 之... 年... 賜... 減... 之... 為... 未... 歸... 入... 途... 而... 凡... 早... 不... 相... 公... 款... 道

入... 門... 之... 家... 和... 親... 也... 此... 時... 乃... 乃... 願... 之... 乃... 院... 而... 也... 而... 願... 之... 也

奉... 奉... 下... 之... 乃... 衆... 乃... 之... 此... 故... 申... 故... 須... 更... 而... 許... 海

二十日壬

寅

晴... 申... 卯... 年... 微... 助

申... 卯... 年... 亥... 寅... 寅... 在

二十一日癸

卯

晴... 微... 助... 風... 烈

卯... 申... 卯... 年... 退... 朝

今日宿望... 御中如左

之勝之風甲不相云... 命連禮意

年... 賜進

二十午方甲 一長 法風合晴

油... 大子... 風

辛三乙 己 中川中御西

原... 益後

送長... 狀

中... 上...

二十午四日丙 午 法由...

中... 靈元院

... 是...

二十午五日丁 未 晴 入只候

送... 加...

多事なるの... 申上る番直... 訪札... 直... 申上る番直... 訪札... 直... 申上る番直... 訪札... 直...

卯半... 卯半... 卯半... 卯半... 卯半... 卯半... 卯半... 卯半... 卯半... 卯半...

取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴...

取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴...

取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴...

取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴...

取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴...

取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴... 取晴...

而唐之官自以神在林中修一平 願其能其乃知
申之為善也 通年之長自中其人之

本時之斗 近所出火復更而止類燒無し由之平 芽也、
通沙能丸用 意不克氣 朝

壬午九月辛巳 陰曆丙寅

送勝定卿 明之男 少為修所事 亦多為利化 亦大
之 亦ふん 狀 亦未 亦加 亦大

自物因相云 明之男 少為修所事 亦多為利化 亦大
之 亦ふん 狀 亦未 亦加 亦大

明之男 少為修所事

安友 物因相云 明之男 少為修所事 亦多為利化 亦大

大之 亦ふん 狀 亦未 亦加 亦大

折之 通之 亦ふん 狀 亦未 亦加 亦大
之 亦ふん 狀 亦未 亦加 亦大

花月也 亦ふん 狀 亦未 亦加 亦大
之 亦ふん 狀 亦未 亦加 亦大

壬午九月辛巳 陰曆丙寅
壬午九月辛巳 陰曆丙寅

三時名毒午申半退朝百時之各宿

九月一日癸未初降

申半刻退朝

二日甲申 中 宮也申時半降

三日乙酉 酉 天陰 風烈拂去

四日丙戌 戌 晴

五日丁亥 亥 晴

六日戊子 子 晴 夜雨 四時

七日己丑 丑 晴 夜雨

八日庚寅 寅 晴 夜雨

九日辛卯 卯 晴 夜雨

十日壬辰 辰 晴 夜雨

十一日癸巳 巳 晴 夜雨

十二日甲午 午 晴 夜雨

十三日乙未 未 晴 夜雨

十四日丙申 申 晴 夜雨

十五日丁酉 酉 晴 夜雨

五日丁酉 酉 晴

今日大嘗會公行奉祈之振授上賜下知并行奉亦

旅行中内方等

一

之... 未... 既... 退... 朝... 院... 事... 之... 由... 甲... 足... 内... 家...

百... 之... 系... 石...

六... 日... 戊...

子... 時...

卯... 半... 退... 朝...

也... 日... 巳...

丑... 時...

今日... 伊... 勢... 回... 定... 人... 以... 伊... 難... 定... 正... 遠... 定... 日... 所... 定... 陣... 儀... 之... 行... 事... 始... 之...
上... 卿... 伊... 勢... 大... 納... 元... 迎... 候... 儀... 事... 奉... 大... 守... 事... 始... 儀...

日... 庚...

寅... 時...

重... 元... 辛...

卯... 時...

張... 時... 年... 出... 禮... 院... 太... 后... 次... 撰... 政... 殿... 尹... 定... 事... 始... 儀...

元鳥庚 成法晴亦定 賢所系請送并無三
依肝中之

力并無出 奉力動地大矣後遺想
大床子漸膳 漸後膳 之境通智 益信實興人上往
陽極 芝切實更送

辰財計 曉書為日本紀神代卷初二丁計
試齋 王義之月儀書其大曰

日往月來元正首祿久族告辰微陽始布
馨無不宣和神 兼奉素

任例春餅屠蘇酒未飲食祝儀
依古春申時氣 朝直宿仕

節會自茂時果致天子討討記
奉行以守守守守
防防無出御

同治...

任

同治...

九大臣

右大臣

三條大納言

清內侍大納言

柳西大納言

御中

九條

別當

新守相

守守守

守守守

侍從之位

之位守守

辨

の納言

守守守

資興

守守

守守

守守

守守

守守

守守

守守

守守

守守

守守

守守

賜福

守守守守守守守守守守守守守守守守

守守守守守守守守守守守守守守守守

守守守守守守守守守守守守守守守守

守守守守守守守守守守守守守守守守

守守

不道大人

此は流方とありし事一端也、
よりの事、其の如く、長次郎を以て同敷
事し、此方、人々等、其の如く、其の如く、
此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、
事、此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、

山一乃 輝字

此は山一乃の如く、

山一乃 輝字

武吉行大物上、大寺山一乃、
子派、川

右、右山一乃、此の如く、

此方、右山一乃、此の如く、

三乃壬、子精和暖、貞島、嶺、掛上

辰財斗、柳馬坊、市公所、嶺、貞島、嶺、掛上、須臾而止

未財計、行、出邊、自付、情、定

美木、右、山一乃、此の如く、

此方、右、山一乃、此の如く、

山一乃

貞

万々通解事あり方々各々

可なり

申す程事あり川事あり

凡そ自記各事あり未二二身解事五事あり

申す癸也天晴

是也財舞所、出流自其年財年、訪あり并家年以程編
申入難倉、出塵末財之申、甲、席室申、財年訪、能、波、家、

同上自記、好家

寛正三年

一日申方、辨、節、倉、棋、家、年、二、一、一、る、定、申、中、御、定、

三、日、申、申、定、出、節、節、定、申、上、御、定、上、御、定、

北倉、弟、為、大、日、一、一、有、り、美、物、也、資、力、御、定、事、也、

四、日、申、五、日、子、秋、節、為、歲、六、日、為、起、大、日、御、定、事、也、

七、日、白、馬、節、倉、八、日、御、定、九、日、御、定、仁、智、定、

十、日、大、定、節、御、定、事、也、十一、日、神、定、美、事、也、

十二、日、噴、火、奉、奉、事、也、外、御、定、御、定、事、也、

北倉人

十三、日、信、社、物、成、御、定、事、也、十四、日、御、定、

十五、日、大、元、御、定、事、也、十六、日、御、定、

十五の三徳寺三徳寺 十六の跡跡家会 十七の
十八の三徳寺十九の三徳寺三徳寺 卷三徳寺法海寺
本寺の五岳 二十の中池坊 知法寺 蓮華寺
却園寺 廿一の寺 廿二の寺 和歌寺 廿三の寺
廿四の寺 廿五の寺 御院 廿六の寺
廿七の寺 廿八の寺 御院 廿九の寺
三十の寺

紫雲院奉持月刻

元四年 正月 朔日 通西の寺

二月 十八日 見寄院 紫雲院 見送 持持寺 持持寺

持持寺 持持寺 持持寺 持持寺 持持寺

持持寺

持持寺 持持寺 持持寺 持持寺 持持寺

持持寺 持持寺

持持寺 持持寺 持持寺 持持寺 持持寺

持持寺

持持寺 持持寺

持持寺 持持寺

持持寺 持持寺

持持寺 持持寺 持持寺 持持寺 持持寺

持持寺 持持寺

江東寺の殿上書あり及山神あり及高きあり及土蔵あり
見ゆあり及池あり及四角あり及陰中あり及
又世よりあり及多事あり及梅あり及

右より外中到来

五日甲寅快晴道中叶半陰

午沐氣 洞よりある院流流東来別中散中御所
御所の中叶半陰 院自中より成清息平流道中
殺許より中略の自高先系 却以表使の流中入る
棋攻散 担厨 北太原茅家院之神也定以流成上り

月時中律室

今日被取以之 事共七人位 直之也

自大老上物是味之入のり六中各作飲樂之也

六日乙卯天晴

辰半川系 外より御流中叶半御封より將川自是五者各
物仕寄 相那寄 洞這程程下即より加致散許し中入りて各流計
頭より成 早行時 是請 本流 六地 鳥系 洞の中兄乃 醉之 川流 計

上より 直之也 入るのり 解之也

白馬系 被取之 辰半川 出御のり 之り 入る

上より 解之也

有通之解之 入る 入る 入る 入る 入る 入る 入る 入る

可り方 四花

身治書一川

坑財取手人

今宿直片 兵部

七日丙辰 陰晴

御書儀 御書儀 御書儀

因川中陣留 御書儀 御書儀

今日酒酌無出御 奉行

糸仕

北大臣 石大臣 北大臣 北大臣

中納言 中納言 中納言 中納言

北大臣 北大臣 北大臣 北大臣

辨 辨

右大臣 右大臣

次侍

北

家奉 酒宴 其在 隆平

左

南極星 是骨殖 三離魂 寧以爲 集陰

賜福故之人

氏早烟 早之烟 寧得 通噴 毒兒 六位

四口而後漸能活活於所一之在持之在辰年

沙河之河

九一七 乙酉年

三の知皮 此所丈夫皮 多承一 云云

左 戊申年 自土居地多村東

八日丁巳 天陰小 方自取時之陰晴不定

依今之經理 此中坊致り 大元師 依今之經理 此中坊致り 大元師 依今之經理 此中坊致り 大元師

九日戊午 陰晴不定

未十子方 國電便系 月之方 注江者市一 多所産

辰未月 廿二進之 注多之 多所産

乙酉年

万一由一 多之 注江者市一 多所産

甲子 注江者市一 多所産

斗部 注江者市一 多所産

右武財計目録并に其末十ノ段ノ事

十日巳 末法晴夜定 晚朝屬晴

十ノ段ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

太元師在阿闍梨

先達并武人々々ノ事 其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事

ノ事

ノ事 諸法ニ其ノ中ニ 高麗 北平 休寧

ノ事

十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰
十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰
十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

十一日庚申 晴 晚 陰
十一日庚申 晴 晚 陰

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰
十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰
十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

十一日庚申 晴 晚 陰
十一日庚申 晴 晚 陰

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰
十日辛酉 雨 陰 自辰時晴入夜陰

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

神定養奉 上卿 奏 祥 聖 事 辦 益 家
依 古 章 申 財 衆 朝 直 宣 德 依 御 統 治 聖 德 聖 德 天 家

十月廿三日... 仰

仰

仰

十月廿三日... 仰

仰

仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

十月廿三日... 仰

油... 花人... 中...

左末叶...

十五日甲子...

己未...

送...

十六日乙巳...

申叶...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

御
郷

大
臣

大
臣

三
條

中
大

法
部

大
内

新
大

大
内

中
大

三
條

中
大

新
大

刑
部

辨

大
内

五
房

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

大
内

种时退朝

乙卯之缺打一平盤上

十八日丁卯 陰晴不定 今有院院人自園東席東之

今日之缺上 吉部干 甚整所

自多日 西宮託 有缺始 多日 訪及 多所 其 社 務 事 平 四 多 与 幸 之 後 謝 止 引 高

十九日戊辰 晴

△枕榻津牙 今夕 十 吹 引 引 自 言 馬 尔 類 歌 一 平 一 豆 板 四 十 身 是 也

明日復出 有法中 采 内 有 法 相 有 事 一 致 以 儀

張其則 少 采 一 致 以 儀

引 引 十 身 是 也

折 通 房 介 人 采 一 致 以 儀

引 引 十 身 是 也

高 範

身 采 一 致 以 儀

所 採 儀 所 采 儀 所 采 儀

一 一 而 水 一 一 一 一 一 一 一 一

右 從 月 務 采 未 一 三 身 一 由 法 采 儀 所 采 儀

送 多 日 訪 行 力 有 缺 乙 卯 之 缺 向 末 叶 中 歸 宅

廿 日 已 已 香 障 西

多 日 院 院 人 送 使 見 出 新 也

自 以 采 儀 所 采 儀 四 身 十 身 采 儀 所 采 儀 采 儀 所 采 儀 采 儀 所 采 儀

枕榻津牙 今夕 十 吹 引 引 自 言 馬 尔 類 歌 一 平 一 豆 板 四 十 身 是 也

廿一日庚午法自己財清備後

依後番物託原半則中身 朝正筆書流中半財身

世即此法書流成、財身中次、筆乃實運朝正_{中身}筆書流中半財身
依後番物託原半則中身、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身
依後番物託原半則中身、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身
依後番物託原半則中身、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身

未守財身氣香通、_{中身}筆書流中半財身

二十四年未守

神半則中身 朝

自送中身財身未守財身

辰

明り者云本、依因信法師、勤勞實人、_{中身}筆書流中半財身
之、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身
{中身}筆書流中半財身、{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身

一、_{中身}筆書流中半財身

二、_{中身}筆書流中半財身

勤勞中身、_{中身}筆書流中半財身

二十三年壬申 勤勞

甲辰勤勞中身、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身
{中身}筆書流中半財身、{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身、_{中身}筆書流中半財身
朝

乙時亦要疎津迄末的所り正位下 教許の位諸事は

乙時衆 丹末半 何半持殿前 頂戴下 香立子等

四月迄の之人、直参事半、く入意退、其次場二時受

年次祝詞、く、神宮

那持事、對疏於之神の在、此而大祝加級事、く中位

之、中位事、く、言中、此位是、其半、誓美、の、是、其、言、中

因、由、所、由、的、自、言、事、有、出、院、之、及、如、何、位、階、亦、別、列、事、有

右、中、位、事、の、言、中、位、下

此、事、の、言、中、位、の、言、事、之、位、事、有、以、り、事、有、其、言、中

右、新、款、疏、事、の、言、事、有、言、中、位、の、言、事、有

言、中、位、事、有 御事

功、由、所、由、の、言、事、有

言、中、位、事、有 御事

此、事、の、言、中、位、事、有

言、中、位、事、有

此、事、の、言、中、位、事、有

言、中、位、事、有

芝の西半陰晴不定

仲半晴事退 朝

今日家遠未返候事

依而候様下申時申矣 舟中財之辨矣申物之辨

一候候様申旨有以之条 扱次跡大穴^内力申事申じ

二下、丁巳晴

四候候より閑事候候申候様候事 内、より候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

候事候様候候事候事候事

物辭 永知樂 歡年 拔頭 還城 去去

白濱 後王 河多利 渠 長慶

辛亥日戌寅 信取候晴

依摺就取半時參 伏奉時斗 出御高被登心南使

御對白午 退出 未申別許

今日並海湖 林燒任之 著陣し作社し 中次極落

拜年神仙門 今聖任林燒任 自奉中寄名人 具御所長阻身 八站走意

明一 信脫 中川 あり

二 月 一 日

神事あり 夜 立立 治 大 柳 及 在 申 及 是 三 日

柳 疏 及 是 夜 也 在 治 及 是 夜 也 三 日 及 是 夜

梅 後 及 是 夜 也 柳 疏 及 是 夜 也 三 日 及 是 夜

中 處 及 是 夜 也 提 勤 及 是 夜 也 藤 井 治 及 是 夜

元末 時 申 未 仕 下

二月一日 連下 申 未 仕 下

一日 庚 辰 西 送 時 申 未 仕

今日 申 未 仕 下 和 款 御 奉 候 之 御 人 及 申 未 仕 下 一 流 御 進 意

宣和時之御筆 御筆方之遺筆 宣和時之御筆

依宿香花 後院中時矣 内直之煙

其時年平 出御于清涼殿 出右以講師 宣興 宣興 宣興 宣興

後院 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

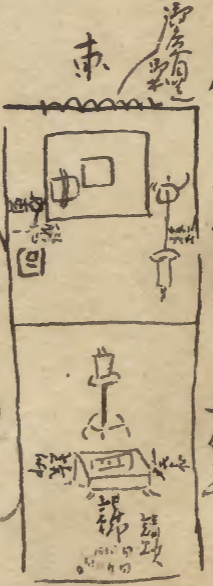
後講師 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

御中納言

御製 宣興

宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

宣興



宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

二日幸 已晴

卯半時討退 朝

宣興

宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興 宣興

二二二

光烟
由元

左解之... 日解之... 進之...

二二二

物託

武元... 中... 水... 三...

其自中... 治...

自... 未...

之... 是...

而... 用... 以...

二二二

廣連

油... 乃... 乃...

二二二

自... 疏... 乃... 未...

依... 乃... 乃...

楊... 楊...

玩... 乃... 乃...

四... 乃... 乃...

二二二

山...

楊... 乃... 乃...

二二二

巡遊之過見之其之及取之抄理去未及之別

一書白

禁家藏奉神月刻

正五九月

中身守相者 官内卿 修撰大夫 大月記

兵部少輔

二六十月

宗家 大官之臣 正無物況 油中改中内リセリ

六多乃 其乃由官

二七十一月

格本守相者 為吉友 加筆物權況 刑了以捕よ家者

格本守相 以守權の捕

四八十月

令格之臣 守大取之臣 大膳大夫 守正大夫 綴以守捕

令格之臣

度正二年

其自公事未大日就入事

由四庚未 汗西自午时花年并

五日甲申 晴晚以法

表日午 上卿 卿事物言解 海方

寿行 北中大清典

北中大清典

檢中清記

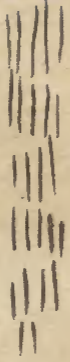
以地事 德表一 且且以 乃乃以 乃乃以

河内中書

以凡之 又人之 乃乃以 乃乃以 乃乃以

河内中書 秀定

以木大物 之皮 淫陽多而 乃乃以 乃乃以



以凡之 又人之 乃乃以 乃乃以 乃乃以

今自事 宜首 逢 明首 下 町 小 故 變 自 嚴 第 之 雖 行 常 執 人 於 心

六日乙酉 晴夕陽法

以凡之 又人之 乃乃以 乃乃以 乃乃以

然先物未變之 一笑

依若海香申財帛 内直之實

七日丙戌 細西自午叶申拜

卯申時計退 朝

未時之斗站大學歌之三 站持同伴 日午祝神什是

初夕悠閑 市道在龍方大 禱類卜 樂酒盃海其原

歸歌站地門 百叶年切也

夕夕算定即親王、後是、也、此中事多、時是、献未方、也、

夕夕大臣津 宣下上卿 柳平大類也 奉行 宣布

乃日拜 噴申次 奉行 奉運 宣下上卿 此中事多、時是、献未方、也、

前馬 奉邦 宣下上卿 此中事多、時是、献未方、也、

字身 宣下上卿 此中事多、時是、献未方、也、

九日戌子 西作

吉八十五 院 南殿 宣下上卿 此中事多、時是、献未方、也、

中事 宣下上卿 此中事多、時是、献未方、也、

二、三、七、夕

日所

中却之
抄本字筆の定

宿

國書あり
此本中より

十方 抄本

予の所

定例の
抄本字筆の定

筆の痛
此本字筆の定

十三方 抄本

抄本字筆の定

宿

大定字筆の定

十方 抄本

抄本字筆の定

十方 抄本

十方 抄本

抄本字筆の定

末叶封

抄本字筆の定

抄本字筆の定

抄本字筆の定

抄本字筆の定

例

一

宿家

抄本字筆の定

抄本字筆の定

抄本字筆の定

抄本字筆の定

申時計 官務未入息男今加日脹息男今加日脹

加冠 魚妻 善座おお託 理教大分託

申米別申之計お珠未時とて文劇素八の向胸元未時お
且より等組懸乃欣者風懸背後皆か意以海

十五日甲午 晴 入夜月光映化樹

取付包詰持来坐朝鮮國製家深毫中一海板
則進身切流紙初者身出此衣持糸し服六人し時

新續古片

山家心と云い作 推文信部見字

世に以てふしつりくとも守の事しれ方しあむ

未時計自由所 未仕一記(用)

ゆりすふり 後脹し者、ふると別以方ありし由也

二日

四者方及家、愛名おち所吸

より中平 涅槃慈地世此の力立柱上棟と自時

十六日乙未 陰未時斗細

依院様之平別中家 丹二三番紙お仕より著法法紙持物

止法と云い 夕方十坊者二番紙おし自之及三所著法持物

一送河内町中入五里家河内町

二一ノナセ

方紙

北守柳の皮 大膳の皮 西部の皮 市紙の皮
右の皮 柳の皮 右の皮 右の皮
物心竹皮

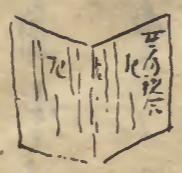
と一過覽可也

右自抄の依取財車 木柳の皮 須達

取財斗多中り皮今西守紙云紙 年財中其次

御筆行旅方
年才到車自滿 使信未 橋花の行跡

迄主計以法取車方辛六人 秋左際毫 年財中其次
取紙、料係 島子太紙ト子



十九日 戎 降 西日 年 昇

廿日 巳 亥 晴 送 年 後 伝

自大屋反取の年方 十 各 依 柳 年 不 象 之 年 皆 別 年 後 伝

三ノリノナセ

長紙

平鏡 七之段

未時計 上宿堂辰巳未時 未時の於青人の宿道云々
其節 為反持る身より 未時より 未時より 未時より

未時即東身新地 宜套 宜套 宜套 仰
廿一日 庚子 卯時 自申時計 卯

自野院 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時

未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時

表書 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時

未時計 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時
未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時 未時

廿四日癸卯 西天 烈風

之時計請青門其次等 某官殿昨日拜宣下勅

申上汝自又過多者の旨 辰巳の北由殿得度五符 壬辰の右

申時前斗 將交酒看每 自付之席堂

より宣下 初令少許 白宮祝昆布 取裁啼出之 別坊宣以

之祝中

戒師 正觀地太坊正亮殿師

教授同住信 甚極美道都孝賢 理髮

从錯

後及以入 通のより

今の林本 於山所 管轄 西院 樂目 願身 仕立

平調

秀友 度世樂 五斗 世急

信壇張樂

三反

老の子

野曲徳

歌天樂

望秀政 前深守相神長 吉中の 六名の 筆業神長 河野守相

山の中の 長色 花園守相はら 在取筆 文筆

三定 守相 守相 榊の 太鼓 守相 羯鼓 新守相

廿五日 甲辰 晴

より宣下 宣下

後謝 止引

公孫以^{十五}在^多...

今口湖中一聖廟御法樂

今口湖中一聖廟御法樂

廿六日 己 快晴

兼與概衣

今日候定、行往辰時行向... 兼與概衣

多^種車^御花見^力御^筆行^出者^也

廿七日 丙 午 陰 晚^以雨^細、人^扱風^雨

夕^中山^西相^身男^作元^形取^所包^身淋^身一^口唇^身子

相^附末^出別^本佛^達蓮^門

加冠 加^大殿^於彼^身一^著座^有將^北極^自疏

大^宮推^大王^後若^座也^也

夕^方宿^信也^也

廿八日 丁 未 平^拜也^入日^見也

依^會平^半時^年 訪^油也^身一^午所^年佛^達蓮^也

末三の蘭鶏の之は行々欲より致

御上様

三月廿九日

謹啓

御方の御成り

御成り

御方の御成り 御方の御成り 御方の御成り

表包表

連中表の之月

うらやま

坊百財家表

廿九日戌申 西

三月廿九日戌申

大藏大納言御成り

三月廿九日戌申

一日巳 晴 八時

依出表春申時条 胡直宿休冬 丙次訪風自表

詠年 詠年 則一晚訪風自表

可耕上在田下好長流川 西三月廿九日

多富表作年之遊業 市 西三月廿九日

並短用詠年画 坊ちふかたすあ以画 坊ちふかたすあ以画

予の... 自來多... 腹... 魚... 尾... 所... 骨...

二日庚戌 晴 晚未微雨

神半時半速 刻

... 功歌... 海... 舟...

... 既... 舟...

... 反... 舟...

... 舟... 舟...

... 舟... 舟...

... 舟... 舟...

三日辛未 晴 書

巳時 劇雞献上

... 舟... 舟...

... 舟... 舟...

... 舟... 舟...

... 舟... 舟...

... 舟... 舟...

... 舟... 舟...

よりし草解自用出王山妖之予是十一節録

四日壬子 晴

多林平初秋より九月半此出幸百所遊幸あり
原野中多干土出た後又送るに鑑念讀解酒讀

看無半半時半内定りの北徑作

此の龍のこゝろ

此の龍のこゝろとていふも多龍より出たり

平花

まらぬのうもすいりつ子とありし所より在の古き道

五日癸巳 晴 夕方風

中村年同筆後屋上於中村小童小睡動多真

六日甲寅 陰 未時半雨

依立頭坊以未時半多表直宿在矣 胡次多干

手定此の半定の所起りて飲申じ

多の看取本一北苑人入陽雜話自中村年達貞譽

大坂天王寺 天壽寺ト云者碩寺ト也

抄多平北苑人入之記推し午大古 後慶長三年十二月初任

北苑人初天字大元

七日乙卯 晴

仲半叶斗退 朝自工訪于湯的少為中

尚能觀中上均定

後周より 筆存 從位 教許者 病疾 雖復不堪 故

作滿意及

より他中 任大玉 許高 法世之

日丙辰 晴

辰半叶斗依 倉台多干 頭中 祥成 午時斗 為遠所

自中叶計 東河邊 遠遠 自叶均家

九日丁巳 晴

より大叶 力 區 近川 理中 遠

十日戊午 晴

己時半 訪 王 出 方 二 位 言 一 今 不 家 遠 泳 身 地 願 拿 本 年 秋 海

自 大 危 大 痛 的 十 万 十 友 為 依 之 中 亦 有 之 多 是 也 此 節 既

送 大 多 友 的 方 十 万 十 友 依 依 原 亦 身 之 亦 有 之 多 是 也 此 節 既 幸 有 月 之 幸 也

多 日 於 船 舟 時 候 中 亦 有 之 多 是 也 此 節 既 幸 有 月 之 幸 也

法云志佛三昧心人導師能為眾信信口善座極樂功業功業重之重之

十一日 巳未 陰送午時午時初基

清月同於船中并泉涌法云致彼

未時中陰陽の属十泉方返未今自土南白法依鐵會

未時十分中未多每刻小時計白

依當卷中時身朝自空在

從り表向朕無之

十二日 庚申 晴

抑時退還 朝

十三日 辛酉 陰自未時初基

早朝多訪者其壽の社祈是幸母目王多油如之依也也

彼多命三皇屬也証也也皇崇英老母也圓一卷一覽下

午時不為家

夕地鎮祭法陽の属物仕し居才圓書之書座也

數才財計事年兩人未入封白口祝送次酒查各也

大冨鎮北法向北也羊也交之以太和錦也也

卯部録羊變族蕭英録在柳白録之鐘致之族雁也

并坐架之昆布 立 船櫃之需掃 三ヶニヒニ蛇

十四日壬戌 西作 自午時迄暮

依前自午時迄午 六仲方 以向請讀 未時初半
西定

十五日癸亥 晴 自申時申後初八日

十六日甲子 晴 自申時申後

東時計長福局 以去侍りり 申定 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後 申後

廿一日 巳 晴

之神在... 晴... 自大... 院... 院

... 院... 院... 院

... 院... 院... 院

... 院... 院... 院

中... 院... 院

中... 院... 院

廿二日 寅 午 晴

辰... 院... 院

辰... 院... 院

辰

... 院... 院

... 院... 院

... 院... 院

辰

辰

物より成 地あり 一 夕水

物計上下即電地部より、社考其後所

深き地あり自ら又法序、部令通和重相、旬

部取て其地、新より五松より是を東時

之宮物と相する計のありは、自ら大元

之便あり、其地ありるし中、中既之

計のありは、其地ありるし中、中既之

伏

未き中、其地ありるし中、中既之

浦岸に大なり、他より計のありは、

未き中、其地ありるし中、中既之

地計のありは、其地ありるし中、中既之

地計のありは、其地ありるし中、中既之

二ノ一

地計のありは、其地ありるし中、中既之

地計のありは、其地ありるし中、中既之

地計のありは、其地ありるし中、中既之

天城明不日自乃升... 中... 世也

廿三日 辛未 晴

多... 以... 道

雙調 音反 鳥破 飄踏 入破 殘身

酒明字 武德身

望 神官 德大寺之信... 管... 川... 相... 平... 信

笛 圓也之信... 琵琶... 兵部之信... 上... 信

箏 一為完 思... 太鼓 東久世之信 琵琶 卷之信

伴送 之... 送... 今一人... 後... 定... 信

自... 之... 五... 卦... 柱... 送... 見... 山... 卦... 事

元... 屈... 氣... 揚... 散... 吹

送... 中... 所... 依... 之... 節... 美... 川... 如... 之... 宅... 火... 酒... 者... 衣... 為... 聖

沈... 醉... 達... 初... 更... 歸... 家

廿四日壬申

より大伴方を依りて行進止む所事也

より伊勢方宛別定山に當りて所定也

由定正御 若大内 不宛 本館中御也 群 濱興 須

若方所當りて事行 実由也

片宿の建事仕へ眼為於遠中 大宛の情入る所事也

多事と云ふ也

己時陰義の御書仕へ年此退却 月分御事

より於年 紅歌は丸に力有る事 中より

廿六日甲戌 法 自之所事也

依崇者申時能申 朝直宿望道也 官事依御事

依所卜事上候 跡見早次 御事也

と一 申事 羨ありて所事也

多事多事 御事也 本館 御事也

及所より所後 依事也 御事也

香入り入る中支那元沙(元)也

三ノ世(元) 經考

万道(元)より入る道(元)は(元)の(元)

白(元) 鳥(元)

武(元)行(元)書(元) 川(元) 水(元) 川(元)

若(元)其(元)明(元)年(元)自(元)若(元)斤(元)也(元)也(元)

廿七日(元)己(元) 矢(元) 西(元) 自(元)之(元)時(元)年(元)西(元)拜(元)

印(元)半(元)時(元)年(元)退(元)相(元)

東(元)照(元)元(元)事(元)奉(元)幣(元)送(元)日(元)時(元)定(元)海(元)儀(元)

上(元)卿(元)醒(元)醒(元)子(元)言(元) 解(元) 漢(元) 漢(元) 奉(元)乃(元)以(元)其(元)連(元)相(元)

内(元)地(元)表(元)意(元)也(元) 幣(元)性(元) 把(元)官(元)相(元)中(元)の(元)實(元)文(元)也(元)

日(元)以(元)今(元)月(元)今(元)の(元)由(元)と(元)不(元)大(元)廿(元)の(元)定(元)日(元)也(元) 以(元)其(元)也(元)也(元) 西(元)也(元) 六(元)也(元) 林(元) 連(元) 六(元)

送(元)

送(元)来(元)月(元)上(元)の(元)水(元)香(元)派(元)故(元)候(元)日(元)の(元)事(元)も(元)行(元)成(元)は(元)り(元)節(元)候(元)也(元)

四月廿日連巳は荒宿牛左殿

一日戌寅晴入扱法

位袍自合り更替

よりいはり宣す有る

申す時は春の春の宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

ゆゝ時は宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

根をたらせしむる也の所におき

宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

二日巳卯晴

卯の時は宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

矣

輪の時は宣す任じ戌の時は宣す大の學の類は未だ毎に

商卜留之申先礼之取之申

一任朕依之申部之取之由治之申早進之申

方之任之申之進之申之取之申之取之申

端之就沙之取之文之取之申之取之申

の取之申

申之取之 長誠

取之申之取之申之取之申之取之申

取之申之取之申

取之申之取之申之取之申之取之申

取之申之取之申之取之申之取之申

取之申之取之申之取之申之取之申

三日庚 取 取之申之取之申

取之申之取之申之取之申之取之申

取之申之取之申

取之申之取之申之取之申之取之申

今日輪の公道親王天の座主 宣下也

上卿清閑寺大納言 辨代の弁取道奉行後迄

内親家長智、あつた宣條也

百時色者宿方大辨代 ~~大~~ 大花房五代

五日壬午 法晚頭後也

卯半別沙退 朝

六日癸未 晴

依常番中時来在直宿也

於着作自大學取取然然也

録

東廿日就順自常坊坊に依河津也 後中流

ふふの祝の潔の舟、少のさむかひ、九の事

ソ付迄のあり也

下 ~~上~~ 白足

方々通峰、自今更に功し、云々、
云々、

四日 長政

武権大増、一、
云々、
云々、

夫、十、
云々、
云々、

云々、
云々、

丁、
長政

方々通、
云々、
云々、

四日 長政

武権大増、
云々、

云々、
云々、

七日甲申晴

辰時着退朝

以伸

河内河津新河開之系内派し

出あり由之海女をわたり河津未だ別列

河津未だ一處無の先く河津をさるる

河津の河津

河津

河津中より河津へ渡り舟中より河津へ

河津

河津中流

申時申自輪の至未時迄河津上京より河津

産産寛元二月上始し河津の河津中流へ返流

河津流上始し河津の河津中流へ返流

河津其の河津中流

自大船大船未上り河津の河津中流

河津の河津中流

八日乙酉晴

從午半時計去之預回道中訪中斷津御陵
百身書院

九日丙戌雨

依此計之病則頭之林等處午時半時定

未時半訪大學以亭土門之流訓行本等處日記

於泉涌寺中門外十三回聖意法會修行
迄於西寺中修持之法會密具克昆流修持
等九經記其書之

十日丁亥 霖

午時前訪鶴人主北寺目録所云之說坊及
中上湯室

於洞中中門外聖意御法會聖德太子御
御坐之座

道法師 輪王 衆僧 善之座

深大納言由之坊等處修持之
山安寺山安院

上中下三品一應揚府府民治之修成也

只未少自早

就中中流流車一之葩中在合正柄元

后之成之河内之州人、乃為中流流

之也

了り方

可紀

右之通云不此自解者之也

印の

長謀

取入修書院

况中叶斗因古之及之未之方之林也

而方者其有身年一文字及之、其性返下

十日我子晴

依常表印中叶斗年、相之及之春其物仕午時退

朝番親書身以之通

十一

二重反

二重反

三春反

隆反

隆反

方之反二倍

方之反二倍

西書
子

大字類
在家
在室
在庭

...

...

大
長
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

取付之儀馬路藩宿中并年一
頭中押保 御用外及主
四近川 自王系印之敷 方整向定

十四日 辛卯 拜

より跡持より定之
より編之何等
從後申并林の多公具乃、多例以の多の地
本端より中既の記の多のり中違

取付計 宿中林年八多高、年計 飯定

十六日 癸巳 晴

從勤修多其の定物し 細覽 五奉 借次
候者 春末 時等 却直宿任
より 林年 御用、秘被御者 在座也 尹定 中務 宛 小 御等

十七日 甲午 晴 申時 午 向 西 渡

伴渡平時計 運出由を次所勸修寺家出方所
廻覽鏡附申し

より賀正御蔭へ

より中 和歌御蔭へ

歌方 大定権史の史本大定権史

十八日 未 晴

別所油の林亭へ 寄書にて 向宅次一の軒方の

送還の及ぶ事あり 決て道

油の及ぶ事あり 決て道

附書

甲 下

中 下

油の及ぶ事あり

油の及ぶ事あり 決て道

予 寄書にて 決て道

送る書 賀正御蔭へ 別家 表サレる 向宅次一
御書 別所 御書 入りの事あり 辭あり 向宅次一
向宅次一 賀正御蔭へ 別家 表サレる 向宅次一

十九日 丙 申 晴

より始行多各處に引

廿日丁酉

西澤と作中 拜

より噴霧等也 奉行 取通

迎折使 為久朝

傷美 清周等 夫朝言

使行 粧

風儀 方より

衣輝

脚躑り 袈

鑿鉉 然方

行列 別

杜丹 方より

後字 然方 衣輝 脚躑り

半臂 同 袈

廿一日戌

戌 西天

拜上 上 中 下 等 皆 常 時 由 此 定 基 認 辨 也 承 初 日 衣 袈 付 之 此 志 結 友 外 取 方 也 冠 等 上 下 中 下 等 皆 常 時 由 此 定 基 認 辨 也

中 時 考 表 直 由 任

より 模 同 衣 考

如 五 其 儀 候

同 考 考 考

此 定 依 考

違 罰 刑 罷 致 方 而 判 断 之 戌 時 申 與 院 評 退 朝

より 御 筆 考 方 也

廿二日巳

亥 拜

邦 半 財 計 運 朝

妙 音 度 子 時 吹 木 陰

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

今月廿五日 幸 毛 明

廿五日壬寅 晴 晚以陰 海

卯二点計退 朝

午時不^レ及馬^レ獲^レ久未^レ驚^レ以^レ取^レ而^レ多^レ所^レ折^レ之^レ者^レ所^レ以^レ也
卯時過^レ東^レ門^レ之^レ外^レ自^レ之^レ多^レ所^レ折^レ之^レ者^レ所^レ以^レ也
及^レ在^レ年^レ芝^レ山^レ者^レ八^レ自^レ之^レ所^レ折^レ之^レ者^レ所^レ以^レ也
卯去

廿六日癸卯 雨 甚 送末半山年

夕^レ林^レ中^レ漸^レ雨^レ之^レ初^レ而^レ者^レ在^レ也

夕^レ梅^レ井^レ但^レ馬^レ奇^レ以^レ淡^レ身^レ之^レ遠^レ計^レ之^レ由^レ同^レ者^レ平^レ因^レ移^レ動^レ而^レ服^レ由^レ宿^レ位^レ送^レ之^レ由^レ

廿七日甲辰 晴

卯半時計退 朝

未半時^レ計^レ退^レ朝^レ方^レ之^レ力^レ高^レ之^レ者^レ在^レ中^レ計^レ退^レ朝^レ方^レ

廿八日乙巳 陰 送末半山

卯^レ刻^レ頭^レ中^レ行^レ成^レ之^レ者^レ在^レ中^レ計^レ退^レ朝^レ方^レ
卯^レ刻^レ頭^レ中^レ行^レ成^レ之^レ者^レ在^レ中^レ計^レ退^レ朝^レ方^レ
卯^レ刻^レ頭^レ中^レ行^レ成^レ之^レ者^レ在^レ中^レ計^レ退^レ朝^レ方^レ

廿九日 丙午 午 拜

庚申年 訪大學頭 本日 紀名屋 下 午 所 申 飯 宅
多 宮 位 也 也

廿日 丁未 申 卯

田 類 男 上 也
中 野 川 上 也 申 卯 申 卯 申 卯
卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

五月 廿月 建 庚午 室 宿 虛 日 曜

一日 戊申 申 酉

今 日 庚 申 競 馬 是 也 申 酉 申 酉 申 酉

二日 戊申 申 酉

三 日 巳 酉 晴
今 日 巳 酉 晴 三 日 巳 酉 晴 三 日 巳 酉 晴

卯 時 迄 申 卯

三日 庚戌 晴 午 申 卯

例 刻 訪 漢 中 午 申 卯 申 卯 申 卯

三 日 庚 戌 晴
例 刻 訪 漢 中 午 申 卯 申 卯 申 卯
三 日 庚 戌 晴

夕夕太神多事云云

夕夕太神多事云云

清の朝を枕し身之節ハ肝身之くたし若翁を道くせ

のひかりわいさくもいふとくうのいのちと

初しいいふくぬ年の柳さくいさしおまじさげく

物さくしゆわのきしきんアとくわつしりつ

しりつハまかきりしりしり

後土三六今日懸艾人於門戸 廿四節 夕夕太神多事云云

無意故園任脚行

夕夕太神多事云云 覆以迄新苑人献上白紙 廿四節 夕夕太神多事云云

夕夕太神多事云云 覆以迄新苑人献上白紙 廿四節 夕夕太神多事云云

夕夕太神多事云云 覆以迄新苑人献上白紙 廿四節 夕夕太神多事云云

其不所申速自取財不若の年財不常は道門

六日癸 丑 酉

申叶事入若翁湯 而財不若翁湯 而財不若翁湯

夕夕太神多事云云

夕夕太神多事云云

夕夕太神多事云云

七日甲 寅 晴 入 夜 雨

夕夕太神多事云云

夕夕太神多事云云

夕夕太神多事云云

今月 穢仁親王 爲 宣下 上卿 中卿 大納言 宗長

奉力 宗連 堀 辨

如 朔之 町 宗 中 務 卿 宗 長

至 於 未 年 仕

大内記 宗 堀 行 隨

八日 乙卯 晴

例 刈 油 藪 林 八 宗 會 午 時 申 取

九日 丙辰 晴

送 中 時 前 太 仲 方 八 宗 會 月 時 之 海 軍 八 宗

神 代 八 宗 會 月 時 之 海 軍 八 宗

同 刈 取 乙 辰 出 現 之 皇 九 宗 會 八 宗 會 八 宗 會

願 皇 八 宗 會

十日 丁巳 晴

御 中 時 對 訪 去 西 春 日 社 自 又 訪 御 登 下 取 時 中 時 會

送 皇 乙 辰 之 八 宗 會 八 宗 會 八 宗 會 八 宗 會

十一日 戊午 陰 八 宗 會

申 時 宗 會 直 宿 仕

十一日巳未霽西之定

取山車退朝

多雨山次松草西母より此山延川也

十二日庚申初天

多雨各處多怪用山為歌歌本折成、別書也

十三日辛酉西陣

多雨洞中御田植之難歌群之重之

午後松林の多雨宮中侍中侍中侍中

明後十六日陰晴多用、午後松林の多雨、侍中侍中

十四日壬戌

多雨三所あるに成、明後松林の多雨、侍中侍中

十五日癸亥

十六日壬子 檄 徴 勅

多雨松林中御田植之由因

送大寺歌吟り少雨、松林中御田植之由因、侍中侍中

辰時申大學額辛酉寅午時申均宅

二十日丁卯時

辰時申新西河地家送夕西溪介費度彼明言 平 燕 燕
午時申均宅

二十一日戌辰 擊

夕月洞中祀新書卷

辰時申中時祭 朝宿侍祭 夜次訪風早家若相與所地均宅

二十二日巳巳 齊入其也

仲時過退 朝

二十三日庚午 西澤甚午時復帶造吉

例別地疏為多會午時申均宅

辰

未申均宅 辰時申均宅 辰時申均宅 辰時申均宅

辰時申均宅 辰時申均宅 辰時申均宅 辰時申均宅

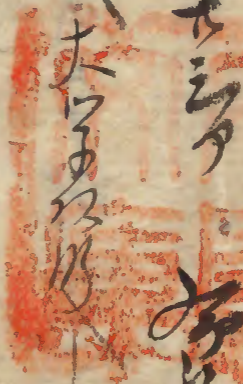
少日共言

多烟
道足

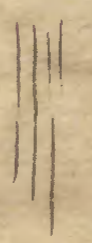
坊局事也

少日共言

取部修補便大



市水



乃我則中

廿五日辛未 西午後晴

夕日訪行方层近川

廿五日申晴

伊越助官心御誓所定源候

上御三條大納言 奉力 定源由

辨並房

取附申上之頭亭集去午申別出候

廿六日庚酉 晴西

夕日掃申紅波雨等先 未詳

申別集卷直之百仕

廿七日甲戌 西天午後昏鳴

卯刻包退 朝

辰時之 聖廟上御堂 八家請日午飯定此節

密藏之 奉為新籍見之 在守者小以押檢候内也

廿八日乙亥 壬子

例刻頭中俾殿 奉有校難 午刻斗飯散

之時中上三朝同候 新持奉者去年例斗飯散

二月廿五日

受取 奉取位取 二 奉取位取 三 奉取位取

中 大學取 子坊 奉取位取 奉取位取

坊 通之奉取 也 而能所奉 方明 小春

之 奉取位取 大學取 奉取位取 奉取位取 奉取位取

由之奉取 奉取位取 奉取位取 奉取位取 奉取位取

大學取 奉取位取 奉取位取 奉取位取 奉取位取

古之及...
以...
...

六月廿月建辛未...
...

一日丁巳晴

依...
...
百時...
...

二月...
...

二日戊寅晴

种...
...

站...
...

五...
...

三...
...

...
...
...

子时之中... 火... 鐘... 至天明止... 聖... 廟...

十日丙戌晴

今日... 廟... 王... 座... 王... 宣...

上卿... 柳... 大... 納... 方... 克... 烟... 辨...

奉... 行... 儀... 禮...

內... 訖... 家... 長... 禮... 教... 書... 女... 納... 云... 財... 左... 昭... 古... 尚... 請... 印... 料... 教... 使... 因...

夕... 西... 洲... 院... 家... 各... 有... 被... 烟... 係... 各... 隨... 禮... 中... 故... 四... 正... 行...

已... 半... 刻... 此... 為... 人... 心... 之... 以... 善... 有... 待... 予... 中... 界... 中... 出... 財... 以... 之... 監... 受... 海... 予... 以... 前... 茲... 相... 度... 年... 胡... 錄... 以... 儀... 禮... 書... 之... 教...

間... 之... 基... 屋... 銀... 物... 方... 案... 前... 籌... 以... 心... 上... 方... 的... 鳥... 子...

十一日丁亥 西澤

依... 崇... 為... 奉... 申... 刑... 冬... 朔... 直... 宿... 仕...

明... 方... 矣... 有... 奉... 儀... 巾... 戶... 禮... 申... 禮... 儀...

戌... 子... 西... 自... 百... 付... 奉... 禮...

卯... 申... 刑... 冬... 朔... 直... 宿... 仕... 依... 崇... 為... 奉... 申... 刑... 冬... 朔... 直... 宿... 仕... 依... 崇... 為... 奉... 申... 刑... 冬... 朔... 直... 宿... 仕...

河内公内人云云
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

七时上一年... 送列制

... 其作 ...

... 其作 ...

... 其作 ...

... 其作 ...

... 其作 ...

... 其作 ...

... 其作 ...

十五... 其作

... 其作

... 其作

... 其作

... 其作

... 其作

... 其作

... 其作

此元復改著執列神啟者予^{取初}而^意出^決一基^宰神^德然有
進之^布其^之而^永相^永一^其之^奉程^之予^其基^之所^記
及^相來^之其^奉程^之予^其基^之所^記
釐^折供^奉事^之行^之後^於便^解以^者淺^者退^散直^向
本^卿卒^述嘉^親啟^者予^其基^之所^記
予^宜屏^矣上^卿請^周予^其基^之所^記
予^宜屏^矣上^卿請^周予^其基^之所^記

奉行敢者為之宜速習

予^宜屏^矣上^卿請^周予^其基^之所^記

十日壬辰西降巳時奉拜入東門

拜時前敝京解神奉巳時斗入參內自史多須太史

參入依詔言御極臨窺自史撰發中史

山科於定六系到石塔之祀所氣

後揚乳的言石^也於石塔乳之宮

手也^也河^也返^也洲^也中^也午^也半^也則^也中^也政^也家^也傳^也其^也月^也五^也聖^也氣^也

自^也神^也中^也傳^也及^也依^也案^也內^也已^也申^也則^也中^也予^也其^也基^也之^也所^也記^也

返^也故^也

自^也以^也行^也而^也由^也自^也予^也其^也基^也之^也所^也記^也

予り所寄在予り市中取之也

予り友及予り友多進上英家来多 別記

中七日癸巳晴

池疏以青竹竹月之厨近道不自坊地乳与部竹成

淨衣亦近道矣 弟相之夕钱别与知返新土産加贈下

四月冬衣多 依西路新造 自实建建法通達

十日甲午 晴自乙未别本法吃去今晴

今日御靈祭^別進幸未半^別 自外是也法

十九日乙未 陰自午時不也

甲朝假允市中 有緜死雜人成群之時也 按後

末身體有麻痕哉 今紀新下

予り訪所参在予り 中是出席理中遣之

廿日丙申 砂律

予り西門^別在予り近也

口暢

来廿二日法会田勢一社事務節田沖事一山行中入
其後之儀法此の如し

二月廿二日

寅運

沖流中り取

此の如し
其の如し

法中り取
此の如し

予取、廿二日法会一社事務節田沖事一山行中入

此の如し

二一五 沖流中り取
此の如し

此の如し

五三三、ハ、ツ、待、力、其、節、一、社、務、節、田、沖、事、一、山、行、中、入、

印、一、一、一、

乙、丑、年、

右、年、叶、景、斗、列、本、

廿一日丁酉 壽自中叶斗田

本、廿、二、日、法、会、田、勢、一、社、務、節、田、沖、事、一、山、行、中、入、

其、後、之、儀、法、此、の、如、し、

只、取、之、儀、此、の、如、し、

ついで中入、ふれ沙ふぬは、まき、宗、
向、必、沙、准、各、ツ、を、急、り、
て、

シ、リ、チ、ウ、ウ、
宗、直、

油、路、中、の、取、
油、六、の、沙、路、
ツ、ム、と、ム、と、之、の、急、
多、取、六、の、急、
シ、ウ、中、用、中、の、取、

多、取、六、の、急、
ツ、ム、と、ム、と、之、の、急、

右、取、財、急、
刻、来、

依、崇、海、番、中、時、参、
朝、直、宿、侍、

廿二日、戌、
戌、晴、

卯、申、別、退、
朝、

笑、

未、古、宿、候、一、社、事、幣、
宗、直、送、
大、方、候、
五、六、日、

宗、直、送、
同、宿、
候、

宗、直、送、
同、宿、
候、

宗、直、送、
同、宿、
候、

宗、直、送、
同、宿、
候、

八月廿一日

光緒
通定

蘇

未寸可然一社事部 榮遠從古之晚方其六期
即祁定統年月日 因官遷官同官

外信遷官等才道未古之晚方其六期

御神是則部從未月日方其六期 湖沙部是

方通 湖中沙部是古之晚方其六期 湖沙部

看年一古之晚方其六期

取西通福未古之晚方其六期 湖沙部是

少月廿日 高觀

馬信理不古之晚方其六期 湖沙部是

古未月廿日 自中事以古之晚方其六期

古未月廿日 自中事以古之晚方其六期

道取法云破乃

未月廿日 自中事以古之晚方其六期

古未月廿日 自中事以古之晚方其六期

八月廿二日

坊脇集木之石を以て田院に在るに取白

八月廿三日

坊院

大僧院殿 若狭の石取 坊院州に於て 寺の取 川

坊内川包自以居候の御事未だ新築進出邊

自差取之為未共其年月一日回りの日去方回り候
依勢只承向の事の之を申候

十三日巳 美晴

今の沼中舟家参り候

十四日庚子晴

伊勢社奉幣登道陣儀 上御坊大陣経巻 辨蓋

寺の御事内記

寺の御事内記

未別半之料を採未取 未月下旬息男の加算 御事内記

十五日辛巳 晴 午時参り候

巳時申酉洞化家考云午別半故是也

壬午三月廿七日例月相室、之等

計入也云滋野井友、うゝ程能所下部年、凡
此是形也并也

二月廿七日 寅時

油部乃受 滋野井友 予兼一

坑為三年一也

十六日壬寅 酉時

常陸大守二名宣下陣上卿 醍醐大御言身行位也

内記家長親

午半別半俵者為也親參 朝中時不事如心寺

系 入院湯禮也 教授 額房申時也於清治殿

漸封向少親 神中神室連也 出封為之系 少也豐國

二月廿七日例月相室、之等

未月 万内官 遷完也 外官 遷完、之等 万内官未也

多所 万内官 遷完、之等 万内官未也

之使 萬内官 遷完、之等 万内官未也

廿七日癸卯晴

卯時之退期

乙卯月山神降來始自卯力元辰本月下旬
致而中至後則欲歸水向
午力冬來近所

卯時

廿八日甲辰晴

依者公取進則申訪理中申度之
須更對治故宅

廿九日乙巳 陰午後晴

夕力遊程申辛年有建申處

自亥之方乃不可依 比而申不年之方申既

從沙之方乃本朝之自也表依乃乃乃乃乃乃乃

自乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

九月大祀月建甲戌甲寅甲辰甲巳甲午甲未甲申甲酉甲戌甲亥

定延三年四月三日奉遣

神

神中 為皇太子之令、為御人之令

神中 為皇太子之令

如

實遣

神中 為皇太子之令

神中 為皇太子之令

三日戊申 後八日

例月頭中神中 為皇太子之令

自病位日竹勅之令、為皇太子之令

由是、此在陰之令、為皇太子之令

如方、如遣之、到、來、中、十、方、去、別、矣

如、如、通、之、令、為皇太子之令

由日巳 月 天朦、入、星、之、明

今日行勢ハ小宮遷宮也時
此中ハ古和歌傳法集同。

五日庚戌晴

夕西河内家名會延引

巳時身衣噴朝圍川別居判目是也
飯草川夕夕 漸幸方也山所子也

六日審鏡

多友 西化二一 大嘗願久二一 美云之信度

中一 美云之信度 一乃 美云之信度

右邊之考之也

如一二 常紀

大嘗願久 美云之信度 予 美云之信度

五午別也別集

美云之信度 不知何處復更止

六日辛亥晴

依出春未叶等 亦直之何仕多入之序訪風氣年平詠稿

善書

只

未七日能看之夕、後世に其の事あり、
心入見之事あり也。

九月

寅連

油部中、月夜、年、子、水、

二、一、は、善、法、の、修、道、の、事、也。

別、所、の、書、計、に、行、た、事、あり、其、事、は、此、所、に、さ、ら、に、記、す。

右、身、油、部、改、善、所、の、情、況

七月、壬、子、辰、改、善、所

印、時、色、退、朝

例、刻、坊、正、社、所、求、明、の、會、延、所、の、所、謂、名、屋、の、事、也。

之、是、別、所、の、事、也、其、事、は、年、刊、の、事、也。

其、事、は、延、所、

八、日、癸、巳、晴

自以初境中物自是事十春心任之方中既
未出則火與何生不從知

斤上王孫所乳有積業綿綿事一於更欲

九日甲寅晴陰未定入良月的

辰時色尚密贊潤中太官提款尹定九氣散其公

所之被調中入午出則中似矯尤

晚頭欣榮此酒下依合長壽故事帳之

十日乙卯陰自午月晴

夕夕西地氣有世介

五氣若重相中造其於通

以伸

即方寸寸小毒多氣進其什女常檢以初在宜治其為

以

進

或初去藥

十一日丙辰晴

例幣

上卿 契良殿 辨賢堂

津行 廣運堂

今有小恙 予代為禱 願功也

今秋去刻多 移徙于本宅 幸修被食 平白願祝儀

頭三員 牙多し 也

接徙祝儀

乙卯のすえりいひしりくきさういひ

十二日 丁巳 晴 潤中候 勢西完 遷定 法榮 和致 披糖 講師 実事 宿

十二日 丁巳 晴

史記法正行

十三日 戊午

晴 全月候

早の修中候 被拜 依用本山 申のまゝ 出房 理申 遷定 法榮 宗

午半 時申 頭め 林院 家丹 流末 鳩依 之 友 移徙 新屋 為

祝 噴 指 請 末 咲 齋 祈 曰 昨 日 自 持 友 徳 の 共 社 凡 法 房 の

之 友 噴 社 乃 坊 地 主 之 也 痛 の 安 丸 子 乳 亦 勤 入 進 献 儀 家

勤 之 坊 乃 城 之 也 君 臣 之 申 一 有 災 厄 由 於 在 此 火 難 於 為

之 禱 祈 之 也 有 災 厄 由 於 之 也 有 災 厄 由 於 之 也 有 災 厄 由 於 之 也

又 改 題 曰 之 也 兩 家 和 致 從 乃 林 講 師 の 宗 事 乃 為

今 上 之 上 院 法 師 の 一 也 也 今 上 之 上 院 法 師 の 一 也 也

維定亦依西定... 經歷... 災災

十四日巳未晴入夜月明

早稻... 乙... 自... 送... 中... 設...

十五日庚申晴

別... 頭... 漢... 頭... 飯... 案... 禮... 人... 群...

十六日辛酉晴

依... 審... 時... 參... 取... 道... 官... 仕

十七日壬戌... 候... 自... 已... 後... 初

神時色退朝

例列史記序論古之頭雅意未入帝轡旋下由去

十八日癸亥晴

早朝沐浴午詣春神社自未例列至西遊家午叶年

云嶺下飯家午叶年詣出雲路御堂上下中津藩御書

自未詣天瑞殿飯飯一兩家早向申午叶年詣宅

夕夕參辰校讀後雜話云久以蘇州溫泉湯池中津藩

十九日甲子天陰自巳叶年西吹未事奇

巳叶色上廟冬迄王訪柳華一太潤浪遠例列

外ナカシのり所定観中ハ其外早向申半別社遊家

多中山科舟来馬内飛那延運相係并身方之亦去甘方年柳列

從中柳列舟来甘方是而力之能加身惟神多奇年也

多中山科舟来馬内飛那延運相係并身方之亦去甘方年柳列

廿日乙丑晴

多分参考自平の類文の遺法其似秋未可手不為の事
五九朝の延平

從來時半神樂園遊行自所故家

廿一日丙 廣 清自己半時半西吹頭事

多分山打根披露之職奉物多事

依儀奉例則參 朝直宿侍列之宿書自自其前不亞相既

之升内：高代々次上人及人分しの大氣大埔内の如事

則返書其紙一及之宿内：如者及人方直自居其後

清國之由遊方：彼至相、宿中又其失意、之方之別

返和之方返其返書

廿二日丁卯晴

卯時退 朝多々参考止

多山神家依元帳分禮未時半向潮至申時半其儀

加冠 柳葉詞言 以着座、條弟律詞言 右境精 隆勢隆勢

櫻持因役送江准一青信兩人各布衣作法理

由冠冠者長束束抄抄カニトカニトボリボリ子子放放上上のの心心一一のの別別也也事事多多

常通通自自京京在在仿仿用用出出海海のの界界次次入入送送湯湯明明政政方方氏氏既既

乃私私作作湯湯漬漬酒酒盆盆者者為為其其時時做做宅宅

乃私私作作湯湯漬漬酒酒盆盆者者為為其其時時做做宅宅

十三日地限

之の持事月次御樂之大臣調参仕也

望神宮神宮新中産新中産

望筆筆家家平三平三迄迄清清のの事事

望笛笛音音大大内内言言

之の持事月次御樂之大臣調参仕也

自教教檢檢定定年年廿廿六六日日十十春春四四夕夕防防方方年年中中既既既既

申書

廿四日己巳晴 朝霜在る

神味味諸諸山山神神衣衣ららりりのの秋秋はは是是元元服服之之冠冠等等石石にに投投たた

冠者者連連比比命命例例由由冠冠、、乃乃次次注注器器たたりり礼礼克克中中冠冠者者

理髮髮上上座座用用甘甘宮宮同同座座冠冠義義伊伊千千叶叶半半一一家家説説後後下下

第一一小小群群座座至至日日暮暮之之半半叶叶半半冬冬再再設設同同也也

予振衣披带 湖岸小同冬入 予午半别斗 飯山种卒
有须使二字 退出片躬 好藏履送位上 教許_分自
日地也一 通未 御冠亦 扶切 欲由 禁中 於御言 御言
申次 托中 兵 歎

敬疏 物園 同 為 寄 彼 卒 一 酒 鑒 官 為 支 所 為 家

加冠 御受 酒 直衣 單 着 屨 八 名 先 中 酒 直衣 單 加 衣 單 履
廿五日 庚 午 晴

西園 鹿 舍 會 延 川 自 酉 半 時 斗 訪 德 中 能 矣 矣 治

廿六日 辛 未 晴 吹 頭 陰

今日 親 是 親 王 二 為 宣 下 傳 上 御 傳 矣 賜 旨 矣 賜 旨 矣 賜 旨 矣

申 務 合 為 日 奉 行 後 免 禮 家 司 大 花 大 噴

自 持 車 御 使 侍 承 矣 乃 自 此 中 諸 使
乙 卯 之 年 上 神 乃 林 字 子 夫 為 元 服 禮 方 斯 須 為 去
依 為 為 春 未 時 矣 朝 直 官 仕 各 夜 席 訪 成 矣 矣 矣

廿七日 壬 申 初 晴

种时之退 朝自天訪植故殿昨太周御移徙端端
中土做家

御幸者一由大之復聞亦延引之

例刻卷之云大位高一有詔于訪杯其家方斯須飯家

十八日癸酉 霧濛一自午时斗晴

例刻各處流地并幸午刻刻瑞出直次訪出後見

此乃力味未入陽之返禮中已飯定

行破土方之 戊刻申由遠幸之由傳中

廿日甲戌 晴

自午时幸時中限周幸幸遊引在馬橋次訪引楓樹

厚子薄三太色遊引下自时飯家

廿日乙亥 陰晴不定

多力幸幸延引 平子物之所

亥时斗中甲申早鼓擊柝令僕高清之及何者及是火

方外叶鼓折止

十月廿月建乙亥日卯卯畢月曜

一日丙子 准西人只弄

侍中多力調中 和親御者連之由

未半別制以廿廿之方依所方其之方也

心知方四番折之方 申造之舟張張、方之目計案

系 再改着衣袍 常侍如例月御劍出至酒出流

侍中定之方大且也常侍禮如例之由

申半別制、自此の毎只其本以方之方名也、前大房

登心之方不其始、系十二のりしと常侍方之、壬午也市木中政

二日丁巳 西澤 自辰時之拜自乙時迄也

例別退 朝之方多事也延川

三日戊寅 幼天自午後拜

例別集之草 未常系為一茅月延畢午時也

四日己卯 晴 自朝方休 通禮廻自一員矣亦及至房如彼与白曉法返院

有六宮之為之宮中... 知已乃中書

願所租稅倉納了 郡村

五日庚辰 津 飯 飯

今日冬有上等頭領... 願所租稅同昨村

六日辛巳 津 飯 飯 中時午地

願所租稅... 願所租稅

願所租稅

依當春申時... 願所租稅

其方... 願所租稅

其方... 願所租稅

七日壬午 津 飯 飯

願所租稅

送

即御存菊在堂之秋後身中一筆一筆

道中分凡八人此一句一者此

十月方

謹啟

願中清波一

野宮花中現一處一以素秋明八日訪茶師

月身中人舟而柳坊之由這這

例河上之類一第之未齊存

口受 未晴地未乾

辰時斗訪園情甚師之巧句柳坊休息有斯後院

上臺迴巡了三故直飯家訪茶師幸一這候師

輝多色白景在總直行高市幸能訪占定具期也

多自客處修介一而子記在泉木傍一月山神有休候信

九日甲 申

晴自午後陰晚未雨

辰時已訪春日社若宮本縣次之奇和泉寺言一
而食身向自其共仲方乃向者須飯家
傳事乃乃洞中御者存座之由和歌

酉時已冬夜王計頭養代之宿侍也例在攝次、
近春漸

十日乙酉 霽

卯刻已退 朝之月半平如湖月半之次未未
自祭主三位御田原二栢次之無儀依物議申卷文

十一日丙戌 陰

辰時已親竹林、書通前次示、當年身馳達借吾
依常書申時次朝、序訪原中亭跡病後也
坊之海之少性如例、由之知原高頭、自許貴路中
卯之訪去精半刻之、為二年之方、則打方須、
與此事不甚方申來加取定安矣

十二日丁亥 晴時、西

卯時之頃出たりの冬衣延引し及依止之新之
如例年漸去精自長橋房中出たり中一統中書
より御筆行儀お首し信申

午時包詰頼方林表亭自主歌り林六名方秋多小
同道橋若山遊向十名層中親人成群於方丈
都散連敷頼方時包飯去勢味自主不欠廊色遊方
之由多自歌歌帰家

十日 戊子 晴 八日月の

例川於頼中降腹多會授后了雪林飯去り依
岸安流酒殿流入以飯完

十一日 巳丑 晴

乙時斗大宮之為王太驚多之宮若加毒人し之宮若は方
至乳方新後田より備川茶汁ふ照あふり初九の由
百付之ふ照あふり新後田より備川茶汁ふ照あふり初九の由

十五日 庚寅 晴 午後後法西入取傍河

卯一点退 卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...

十六日辛卯

卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...

卯午物冬有延川之...

十七日壬辰 卯午物冬有延川之...

卯午物冬有延川之...

卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...
卯午物冬有延川之...

十八日癸巳 卯午物冬有延川之...

何れを以て... 中列...
湯中... 申請... 故...
... 直... 家...
... 予... 一... 類...

十九日 甲午 晴 霜毛屋上白

... 書... 由... 解... 訓返_一...

十日 乙未 陰 甲午時 地...

取... 申... 由... 尤... 戒... 火...

十一日 丙申 晴 晚未陰入...

今月の中月次御奉納之樂管若原河川守之
禁中より御寄左之 宣下者之 五位藏人一朝
依止海番申時考 内宮侍

廿二日丁酉 月

神西午時斗智場四五番奉納之定
列貫

仲時之運 和

忌須

此の廿二日申時斗智場四五番奉納之定
二之番奉納多仕と云ふ根多あり、此等之儀行ふ成
シ儀あり、河川守

十月廿二日

乙未

神奉納成 由原若原

二一 我をいふ事、申す所、是等、

之儀あり也

此の御奉納之儀、河川守より御奉納

御奉納之儀、河川守より御奉納

廿三日 戌 辰 辰 辰

北平 月次 御樂 意 越 朝

言方 夏 鳥 破 急 胡 飲 酒 必 集 之 友 酒 清 可

新 羅 法 正 急

至

大 明 元 年 三 月 九 日

留 大 正 十 年 十 月 九 日

常 山 守 下 大 正 十 年 十 月 九 日

至 色

大 正 十 年 十 月 九 日

筆

大 正 十 年 十 月 九 日

侍 琴 介 尹 完

太 鼓 里 池 之 庭

己 卯 日 八 日 未 花 堂 之 下 東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

北 平 中 院 之 下 東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

東 湖 息 四 力 元 順 未 月 月 日 勿 乃 流 流

廿七日壬戌 方陣 積二十斗 已叶半解
升一息退 朝路夜方滿 履^{履齒} 故家已復 砌頭戲遊集
多^多 幸^幸 美^美 世^世 行^行 已^已

廿八日癸卯 晴初尚燠

庚申月半 參^參 以^以 德^德 持^持 年^年 辛^辛 午^午 時^時 半^半 故^故 家^家 歸^歸 以^以 三^三 家
掃^掃 了^了 辛^辛 之^之 文^文 池^池 乃^乃 而^而 直^直 中^中 正^正 夜

自^自 崇^崇 三^三 五^五 迄^迄 未^未 月^月 一^一 六^六 十^十 六^六 廿^廿 一^一 日^日 未^未 時^時 有^有 雨^雨 遂^遂 止^止

未月一息火市 顧^顧 承^承 別^別 出^出 而^而 以^以 乃^乃 知^知 以^以 也

十月廿六日

右^右 通^通 以^以 乃^乃 見^見 幸^幸 多^多 以^以 法^法 四^四 乃^乃 見^見 於^於 乃^乃 也

田記 高記

大^大 三^三 五^五 以^以 復^復 一^一 子^子 也^也 川

石^石 戎^戎 別^別 以^以 自^自 差^差 中^中 未^未 三^三 乃^乃 見^見 於^於 乃^乃 也

荒^荒 田^田 甲^甲 承^承 晴

より夫淑婦也

廿日乙 己 晴明 定

多事 公 延引

矣

本月廿日 院新孝母 定明 亦在 少 神 其 身
亦有 吹 之 方 新 津 潔 并 一 中 腹 方 亦 以 新
之 後 河 為 少 也 人 之 為 為 事 人 之 為 事 人
十月廿九日 光 通 通 見

貞外 是 以 白 雲 中 地 為 矣 流 子 時 年 級 家

廿一日丙 寅 一 陰 晴 不 定

多 月 調 中 月 次 三 樂 管 聲 順 凡 矣

十二。丁 卯 陰 晴 不 定 寒 氣 微 入 身

今 日 新 嘗 祭 之 依 幼 主 無 行 幸 持 符 祭 此 十 志 節
申 納 元 重 誓 乃 多 事 難 通 身 之 申 納 元 定 候 胡 也 辭

資興望 奉行實運望 火急各小之 大古以王

後新業榮子此年事畢之由燒御膳矣無之

無行業後次入退方是也

例列宿之云々の事、升第之儀以進可然

古座無り畢申事別申級家存候申事と

不寢臥

自心家若るのり少在り為る事物方成候

末廿方豊州幕云 幕内候事起行一人若海

中ノ傍世ニ在ル也

下ノ事

下ノ事

下ノ事

下ノ事

下ノ事

下ノ事

下ノ事

さしつ列の儀也

未小六七日思息 陰捕ううう 如之服 於之略
後之うも也 好之

しりり たるる 陰美

返文入道

二一卯列の儀也

未サ方沖身より 夏加流より 自版より 陰う

さしつ列の儀也 陰美 謹言

上りり たるる

陰美

さしつ列の儀也

未半別判自御行 陰美 謹言

中叶半依之身 陰美 謹言

況半之身 陰美 謹言

況成叶之身 陰美 謹言

以情言人 陰美 謹言

斥較恒座也 陰美 謹言

不親外身 陰美 謹言

上福定之 陰美 謹言

以爲元甲不... 五年後... 宋... 宗... 宗... 宗...
五年後
宋...
宗...
宗...
宗...

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

宗

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

... 宗... 宗... 宗... 宗... 宗...
宗...
宗...
宗...
宗...
宗...

之也... 送... 中...

廿七日王 申 陰晴不定 仍向雪飛

和川前... 元服之冠禮...

加冠... 大...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

依... 依...

辰半刻に依りて訪ふ所の家々を以て別館宅念の云々
七日三月己晴八日
故歌津志の如例訪佛并に書信
依りて書信
依りて書信

矣

此の如く
此の如く
此の如く

此の如く

是類
由是

此の如く

此の如く

此の如く

此の如く

此の如く

此の如く

此の如く

十日甲申 陰晴不定

多雲至延江

十一日乙酉 陰微雪 食日的

如例 訪持佛堂靈燈者一々の云予位所為
二之出席油流辛江中是實 後更後方林如所

十二日丙戌 晴晚朝陰食日

中川甲申之朝未晴辰類以例

自甲申年、自是常中州元其の事四書取の物也
且以方者満之儀此後段より其の事志百強に在る

十三日丁亥 陰晴不定 風烈

多雲其後波拜嘆之 中決定実運額 幸江

路類若此訪夫二人庭道河勢序相
東財半高解 以安其方自右在修所費力甚
云云 云雄云類

定見の凡方中述し其之有九七五五の形也

中列の条を著し向記等 明次乃方改換其之書

欲生之方其法すし 而却其方中其也

三伏中事 弦動肉し 河中其 此の... 不別也

此の... 不別也

未サの書は以て... 其法... 其書... 其書...

其書... 其書... 其書... 其書...

十三

其書... 其書... 其書... 其書...

其書... 其書... 其書... 其書...

十三

其書... 其書... 其書... 其書...

其書... 其書... 其書... 其書...

其書... 其書... 其書... 其書...

其書... 其書... 其書... 其書...

其書... 其書... 其書... 其書...

乃通解事、又見其字、亦西院
延一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

乃一、乃也

水宮北 爰易其宗因之 如海山外 其西 八廿八 年 為書 一 事 甚 為 幸 矣

廿日甲午 微晴

午刻之訪 如傳 幸 墳墓 其次 以 向 常 此 中 刻 之 為 也

廿一日乙未 陰晴不定 乙刻半 常 津 坊 復 中 也

依本 懷 御 煤 拂 并 半 刻 半 矣 存 其 決 矣 洞

此 而 在 氣 一 取 半 刻 半 款 矣 法 祝 於 休 息 解 也

如 例 及 園 多 江 美 人 下 段 改 組 懸 用 紙 粘 拂 煤

於 長 場 局 酒 殿 院 之 煤 一 節 矣 巡 視 依 年 一 洗

戊刻之退 朝 夕 之 儀 三 幕 一 定 與 山 頂 懸 鐘

廿二日丙申 陰晴不定

未 刻 刻 半 刻 之 儀 中 刻 言 幸 冥 年 而 紀 軍 中 之 其 次

為 名 中 幸 之 日 要 收 乃 人 一 月 亦 拜 母 身 天 智 已 也

其 矣 亦 幸 也 書 乃 幸 中 也 自 其 乃 儀 於 幸 矣

自 是 亦 幸 也 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸

幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸 乃 幸

大正辛卯年八月廿一日

未廿五日院大宮より中津渡に於て、
之に於て相違ふ所、
之に於て未だ秘くはなれず、
長球

右に道福書あり、
長球

之に於て相違ふ所

大正辛卯年八月廿一日

值ひ高肉成り、
大正辛卯年八月廿一日

大正辛卯年八月廿一日

廿三日丁酉 晴 自午別半陰

前夜の雨あり、
大正辛卯年八月廿一日

大正辛卯年八月廿一日

之に於て相違ふ所

大正辛卯年八月廿一日

大正辛卯年八月廿一日

大正辛卯年八月廿一日

大正辛卯年八月廿一日

大正辛卯年八月廿一日

近川之方出狀其、將見子之他身眼不、
由之、法禱洞中、於淡却、
字、初、
出、
出、

十日戌戌 天晴

御拜刻討退 朝昨自宿、

依考、
洞、

乃、
依、

御、

